

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズわんたいよう			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日		～	2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	12名
○従業員評価実施期間	2026年 2月 17日		～	2026年 2月 27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	キッズわん農園や鶴見川お散歩や外出なども積極的に取り入れ事業所の活動プログラムが固定化されないような工夫している	日々職員間や会社全体で新しいプログラムを考えたりし、子どもたちの楽しめる運動やレクリエーションを行っている。食育も積極的に行っております。休日には昼食を提供するノー弁当デーも開催。	他でどんな事をやっているかどんな事ができるか常に模索し新しい事にもどんどんチャレンジしていきたい
2	日常生活において『自分のことは自分で行う力』を身に着けられるよう、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っている	お子様が自分のことは自分で行う力を身に着けられるよう、日常生活の中で出来ることを一つ一つ増やして行く支援を行っている。	支援内容の見直しや職員間での情報共有を行い、統一したかわりのもとご家庭と連携し行っていく。

3	農園で野菜を育てたり収穫したりする体験を通して、食べる ことの興味や楽しさを育む食育に取り組んでいる	農園では、土に触れたり、種を植えたり、収穫をしたりと いった体験を大切に子供たち自身が関われるよう工夫して いる。又、収穫した野菜などを使って調理を行い、食べ物 の関心を育てている。	収穫から調理までの体験ができるよう支援していく。継続し て関わることで食べることの楽しさや興味が育つよう取組 んでいく。
---	---	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない	交流をしていく為に地域にどのような施設やサービスがある のか把握しきれておらずまた日々の支援の中で交流の時間を 確保する事が難しい	まずは相談支援などから日頃かかわりのある所など との交流の機会を増やしていき情報収集を行う
2	事業所までの経路が階段のみでバリアフリー化が難しい	事業所が二階にあり階段を上らなければならない。	介助が必要な児童に対しては職員間での介助方法を共有し安 全対策に努める
3	基準は満たしているが、活動スペースに限りがあり場面 によっては手狭に感じる。	利用人数や活動内容によっては手狭に感じる場面がある	外出やお散歩を取り入れながら活動の幅を広げ、室内だけに 偏らないよう工夫しています。また、時間や活動内容を調整 し限られたスペースでも安心して過ごせるよう取り組んでい る。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズわん たいよう		公表日		2026 年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	ガイドラインの定められた基準は遵守しておりますが、利用人数が多い時には手狭に感じられることも多く外出やお散歩なども取り入れています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	ガイドラインに定められた基準の人員配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	毎日清掃を行っている。	階段があり、バリアフリー化されていない。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月に1回の事業所内での研修及びキッズわん全事業所職員を対象とした研修を行っています。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者との面談を定期的に行っています。		
	9	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	外部講師を招いてのムーブメントや農園、季節のイベントなど月替わりで計画を立てている。	今後も様々な活動を取り入れていきたい。特性から初めての場所が苦手なお子様もいるため留意して取り組む	
	12	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0			
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	当日の朝礼昼礼にてその日のスケジュールや支援内容を確認している。		
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0			
	15	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0			
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0			
	17	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0			
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0			

関係機関や保護者との連携	19	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	退所時サマリーの作成、カンファレンスに参加している。	
	23	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		
	25	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
保護者への説明等	27	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	29	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	30	文母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		希望されない方が多い。
	31	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応記録を作成し、再発防止に努めている	
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	35	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		
	36	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	37	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	38	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	朝礼昼礼時に共有し検討を行っている。	

応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修を必ず行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		

## 2025年度 放課後等デイサービス評価アンケート(保護者様)

キッズわんたいよう

		チェック項目	はい	どちらとも しえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		
適切な 支援の 提供	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	2		
	④	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	10	2		
	⑤	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12			
保護者 への 説明等	⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	6		
	⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	12			
	⑧	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			
	⑨	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同志の連携が支援されているか	12			
	⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12			
	⑬	個人情報に十分注意しているか	12			
非常時 の 対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12			
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	12			
満足 度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	12			
	⑰	事業所の支援に満足しているか	12			